

(参考)「みちづくり計画」(H28~H37)の概要

みちづくり計画は、社会の動きや市民の皆さんの声を反映し、これからのみちづくりに関する方向性や内容、5箇年の実行計画(目標年次H32年)などを定めたものです。

この中で、市内を5つの地域に分け、現状や課題、施策をとりまとめましたのでお知らせいたします。

道路ネットワークの形成や渋滞対策等により、「ひと、モノの流れを創出」、「雇用の創出や地域経済の活性化」、「神戸・関西の持続的な発展」を目指します。

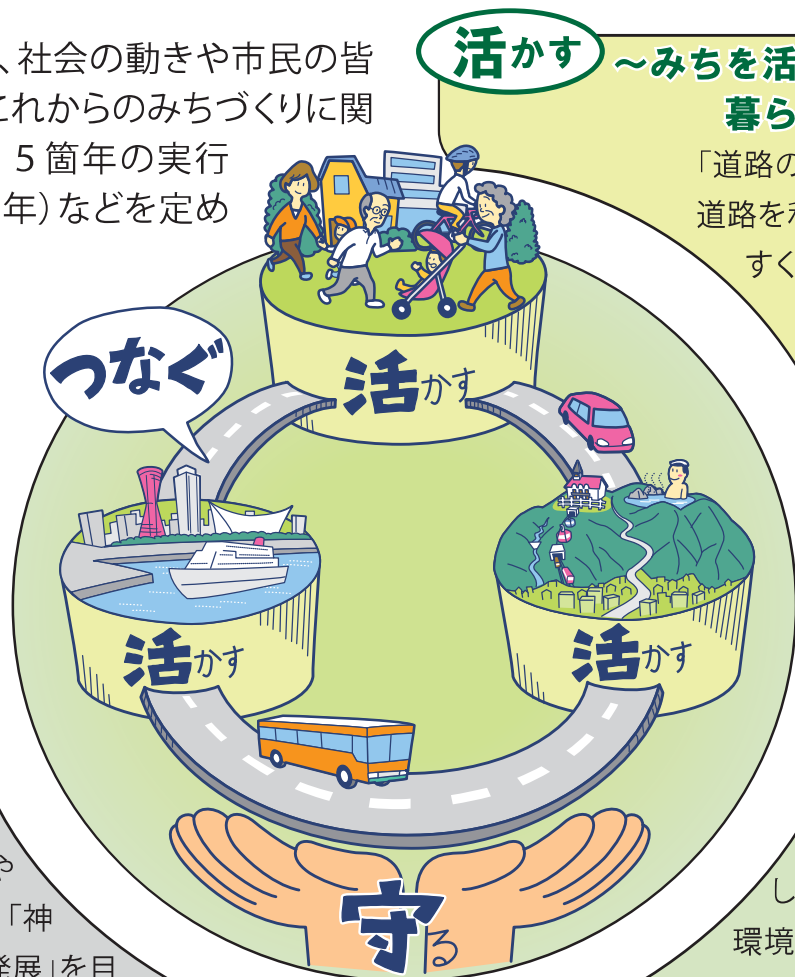
つなぐ ~地域をつなぎ 経済を支える~

活かす ~みちを活かして 暮らしを豊かにする~

「道路のリデザイン」を推進し、道路を利用する誰もが、歩きやすく快適に移動できる道路を目指すとともに、まちのにぎわいにつながる魅力的な道路整備を進めます。

道路の長寿命化、防災・減災対策等により、「しなやかで強いインフラ」を目指します。環境に配慮することにより、「環境負荷の少ないまち」を実現します。

守る ~災害に備える・環境に配慮する~



詳しくは、ホームページからご覧いただけます!!

神戸市 みちづくり計画

お問合せ先

神戸市建設局道路部計画課 〒650-8570 神戸市中央区加納町6丁目5-1
TEL 078-322-5387 E-mail road-planning@office.city.kobe.lg.jp

平成29年〇月発行
神戸市建設局道路部計画課

神戸市広報印刷物登録
平成29年度 第〇号(広報印刷物規格B-1類)



United Nations
Educational, Scientific and
Cultural Organization

City of Design
KOBE

Member of the UNESCO
Creative Cities Network
since 2008



この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。

今後の東灘~長田のみちづくり (案)

「みちづくりミニニュース」
No.1-2

何気なく使っている「みち」について、市民の皆さんに現状や課題、施策を知っていただき、市民と行政がともに考え、「活かす」、「つなぐ」、「守る」の3つの柱を基に、つくり、まもり、育て、次の世代に引き継いでいくみちづくりを進めていきます。

主な現状と課題

◇ 一部の駅前では放置自転車が多い
(例：高速長田駅)



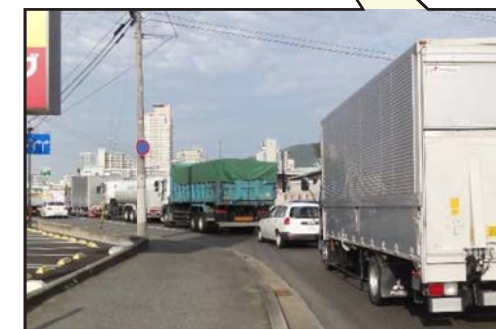
◇ 台風による道路陥没
(例：西六甲ドライブウェイ)



◇ 波打ち歩道等により、歩行者が利用しづらい箇所が多い。
(例：山麓線)



◇ 市街地の渋滞状況
(例：灘浜住吉川線)



⇒ これらの課題に対し、次頁に取り組む内容を紹介しています。

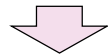
東灘～長田の「みち」はどう変わる？

活かす 1. 誰もが歩きやすいみち

高齢者をはじめ、あらゆる世代の誰もが歩きやすいみちを目指し、歩道の整備を行います。

■取り組み例

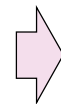
- ・歩道の段差解消、波打ち歩道の解消
- ・バリアフリー道路特定事業 など



■期待される効果

- ・歩行者や車いすが安心して通行できる範囲が広がることで、気軽に外出できるようになり、地域が活性化するなど

(1) バリアフリー道路特定事業



活かす 2. 安全で快適な自転車利用環境の形成

歩行者の安全性向上と自転車走行の快適性を高めるため、自転車走行空間を整備するとともに、利用者ニーズに応じた駐輪場の整備を行います。

(1) 自転車走行空間の整備



(2) 駅前駐輪場の対策



守る 3. 六甲山エリアの防災対策

近年、多発している六甲山周辺エリアの防災対策を行い、六甲山へのアクセス道路を強化します。

■取り組み例

- ・六甲山エリアに特化した道路防災計画（平成28年度）を作り、重点的に対策していきます

■期待される効果

- ・自然災害による道路等への被害を防ぎ、安心して通行できる道路となる

(1) 道路防災対策

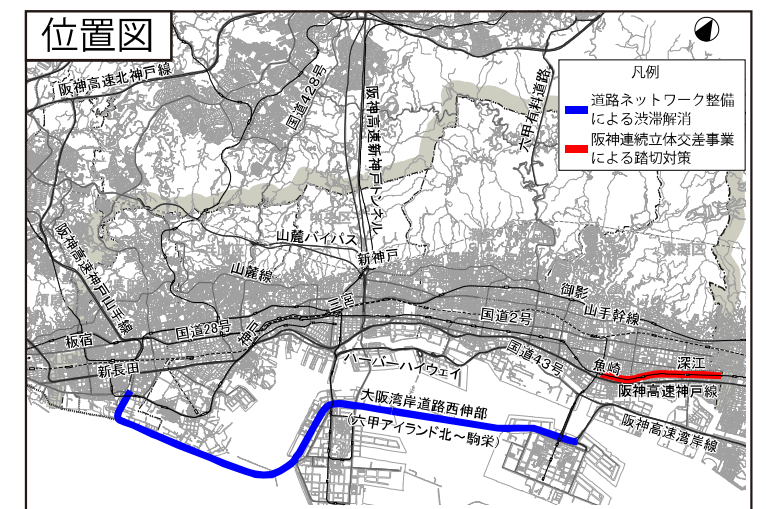


つなぐ 4. 市街地の渋滞の改善

交通集中や道路ネットワークが未整備であることによる慢性的な渋滞への対策を行います。

■取り組み例

- ・大阪湾岸道路西伸部の整備
- ・阪神連続立体交差事業による踏切対策 など



<その他の施策>

活かす 「街灯の増設」

- ・暗く、安全面に課題がある兵庫、長田における街灯の増設

活かす 「交通安全総点検など」

- ・東灘区（魚崎小）、灘区（灘中央）、中央区（こうべ小）、兵庫区（神戸祇園小）、長田区（宮川小）

守る 「橋梁等の補修、点検など」